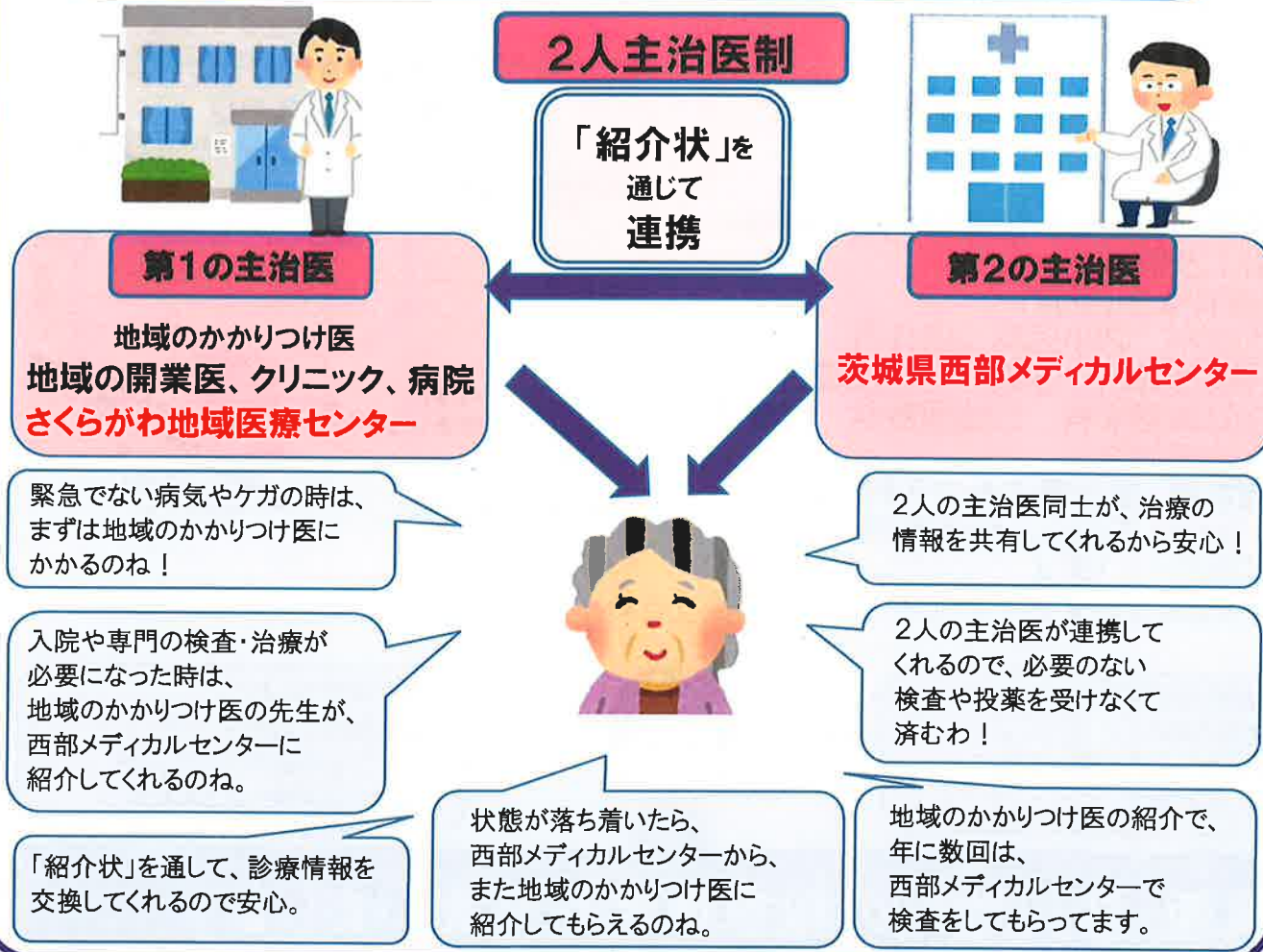


2人主治医制についてのお願い

地域の医療機関・さくらがわ地域医療センターと茨城県西部メディカルセンターが連携し、積極的に「2人主治医制」を取り入れます。
 地域のかかりつけ医が「第1の主治医」、茨城県西部メディカルセンターが「第2の主治医」として2人の主治医で患者さんを守ります。
 みなさんのご理解、ご協力をお願いします。



病院づくりは
 地域医療づくりでもあり
 地域（まち）づくりでもあります



病院づくりは
 まちづくりにも
 つながるのね！

<発行者> 平成29年9月発行

筑西市中核病院整備部

〒308-8616 筑西市丙360番地
 TEL 0296-22-0500(直通)
 FAX 0296-22-0530

桜川市総合戦略部 病院整備推進課

〒309-1293 桜川市羽田1023番地
 TEL 0296-58-5111(代表)
 FAX 0296-58-5082

筑西・桜川地域の



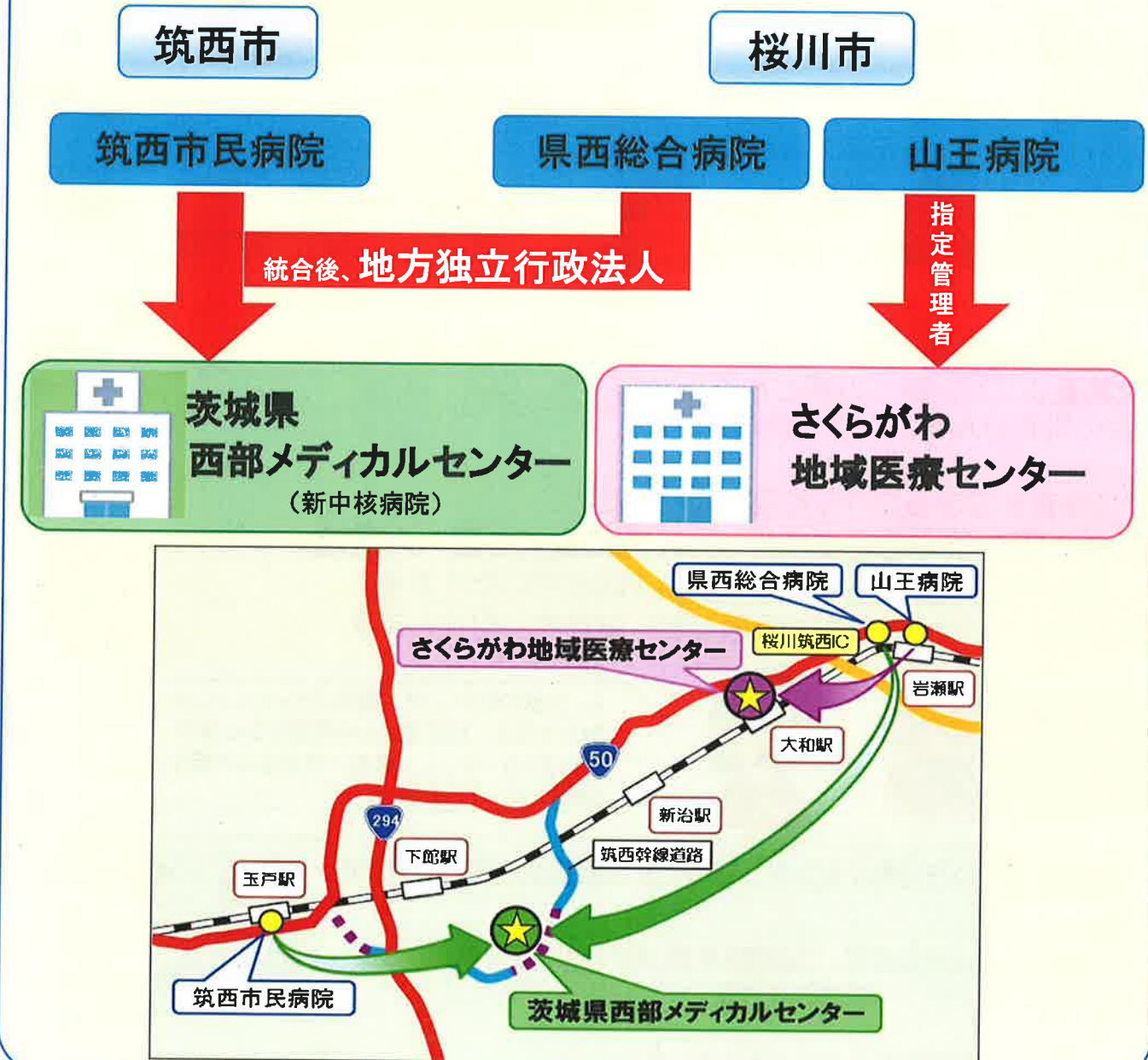
新しい病院



筑西・桜川の地域に新しい病院が誕生します。地元医師会と協力し合い、この地域の医療を担います。
 住民のみなさんに愛され信頼される病院になるよう整備を進めています。

病院再編イメージ

筑西市にある筑西市民病院と、桜川市にある県西総合病院、山王病院の3つの病院を合わせて2つの病院ができます。



病院にも役割分担があります。
 それぞれの病院について理解し、
 上手な病院のかかり方をしましょう！



上手な受診が、
 地域医療を守り、
 育てます。



茨城県 西部メディカルセンター

＜設立団体＞
筑西市
＜運営＞
地方独立行政法人
(茨城県西部医療機構)



茨城県西部メディカルセンター 建設地

筑西市深見・大塚地区



- いつできるの？
平成30年10月開院予定
- 病床数は？
一般病床 250床
- 診療科は？(常勤医を配置する科目)
①内科 ②小児科 ③外科
④整形外科 ⑤眼科 ⑥泌尿器科
⑦耳鼻咽喉科⑧皮膚科・形成外科
⑨救急科
- どんな病院？
急性期中心の病院です。
2次救急や入院治療を必要とする
重症の患者さんを担当する病院です。

救急患者をできるだけ多く受け入れるため、
外来は紹介状中心の受診とし、**入院に重点を置いた病院**にします。
急性期中心の病院になるため、短い入院期間になります。
退院後は、地域のかかりつけ医などに積極的に紹介します。

外来は基本的に
紹介状が必要です



もし症状の軽い人が、西部メディカルセンターに
殺到すると、お医者さんや看護師さん達の
手が足りなくなって、救急の患者さんの受け入れ
が難しくなるかもしれないね！

＜ 茨城県西部メディカルセンターでの、主な疾患の対応について ＞

- ◆ **脳梗塞**
初期治療は、地域医療機関、**茨城県西部メディカルセンター**
特殊な治療(カテーテルなど)が必要な場合は大学病院等
- ◆ **心不全**
多くの場合、**茨城県西部メディカルセンター**で治療可能(薬物、マスク換気など)
手術が必要な場合などは大学病院等
心不全は、高齢化に伴い、今後増加が予想されます
- ◆ **急性心筋梗塞**
高度医療機関(大学病院、筑波メディカルセンター病院など)との密接な連携
屋上ヘリポート、ドクターヘリの活用
急性心筋梗塞の治療成績が良いのは、症例数の多い
病院のため、高度医療機関につながります



さくらがわ 地域医療センター

＜設置者＞
桜川市
＜運営＞
指定管理者
(医療法人 隆仁会)



さくらがわ地域医療センター 建設地

桜川市高森地区



- いつできるの？
平成30年10月開院予定
- 病床数は？
一般病床80床
療養病床48床(回復期・維持期中心)
計128床
- 診療科は？(予定)
①内科 ②小児科 ③外科
④整形外科 ⑤眼科 ⑥皮膚科
⑦耳鼻咽喉科 ⑧泌尿器科 ⑨婦人科
- どんな病院？
回復期、維持期中心の入院診療。
1次救急を担い、軽症患者の診療、
手術を行います。
茨城県西部メディカルセンターが後方支援。

さくらがわ地域医療センターは
1次救急だから、
風邪や軽い症状の時に受診
していいだね！



病状は安定したけど
まだ入院が必要な人や
リハビリを積極的にする人が
入院する病床もあるんだね！

筑西・桜川地域の救急体制を充実いたします

初期救急 (1次救急)	症状が軽く、基本的に外来での投薬、注射、処置などで対応できる 患者さんが対象の医療機関。 担当： さくらがわ地域医療センター 、地域開業医やクリニックなど
2次救急	入院治療を必要としたり、早期の手術等を必要とする患者さんが 対象の医療機関。 担当： 茨城県西部メディカルセンター など
3次救急	2次救急医療機関では対応できない、生命の危機が切迫している など重篤な患者さんに高度な医療を提供する医療機関。 担当： 救命救急センター、大学病院など